

わが家のアイドル



平成21年2月撮影

凛音ちゃん(H20. 11. 14生)

新穀町 荒田 進之介さんの長女
真紀子さん

明るく元気に
大きくなっ
てね。

大きくなったら 何にしたい？



阿部 鈴響ちゃん
(土淵小・1年)

ケーキ屋さんになりたいです。きれいなお店に、大好きなチョコレートケーキやチーズケーキをたくさん並べたいです。



佐々木 亮太くん
(土淵小・1年)

漁師になって、大きなマグロをいっぱい釣りたいです。お父さんがよく釣りに連れていってくれるので、魚が大好きです。

ともに歩んで半世紀

附馬牛町
佐々木 謙敬さん(70歳)
武子さん(67歳)



今までいろいろ苦労を掛けました
これまでに本当にお疲れさまでした

結婚のとき、五十年の思い出は、

(謙敬)二十歳の結婚でした。式当日に初めて顔を会わせましたが、とても恥ずかしくてまともに見ることができませんでした。

(武子)地元の徳昌寺のおばあちゃんに髪を結ってもらったのでした。十七歳と若かったので不安で泣いてしまいました。

(謙敬)十六歳から大工の道に入り、仕事一筋の人生でした。現在も現役で頑張っています。(武子)夫はこの三十年ほど、関東方面に出稼

青春の トーク

夢をかなえた新人先生は 笑顔と元気がモットー

川村 直子さん

かわむら・なおこ
六日町 23歳 A B型

幼稚園のころから教師にあってきたという直子さん。夢をかなえ、昨年四月から遠野緑峰高で体育を指導しています。「たくさんの出会いや経験の連続で、充実した毎日です」とこぼす。特技は走る。高校時代には四百メートルで県優勝したこと

もある実力の持ち主で、現在も陸上部の顧問として生徒と一緒に汗を流しています。「いつも笑顔と元気をモットーに、社会人一年目を駆け抜けた直子さん。「いつまでも初心と自分らしさを忘れずに、生徒と一緒に成長していきたい」と張り切っています。

- ◆趣味は…服や雑貨をウインドーショッピング
- ◆性格は…初対面でも誰とも話せる
- ◆理想の男性は…一緒にいて楽しい人

ぎに出ています。たまの休みに家族旅行をしたことが思い出です。

今の楽しみ、お互いに言いたいことは、

(謙敬)読書です。いろいろな種類の小説を読みます。楽しさのあまり、読み終えるまで止まらなくなりました。

(武子)遠野ふるさと村でまぶりつと衆をしています。みんなとワイワイ楽しく活動していると青春時代に戻ったみたいです。

(謙敬)今まで家のことや親のことなど任せっきりで苦労を掛けました。感謝の一言です。(武子)これまでに本当にお疲れさまでした。いつまでも健康で長生きしてください。

おじやまじまの サークル 紹介

33

会員の特技を生かし 母親の育児をサポート

～思いはひとつ行動は多様に～

遠野地域子育て支援連絡会「クレヨン」



遠野地方振興局が主催した「子育てボランティア養成講座」の受講者を中心に、平成十二年十二月に結成した「クレヨン」。現在は、四十三歳から七十五歳までの九人で活動しています。会長の佐々木利子さん(63)は「松崎町」は「会員それぞれの特技を生かしながら、年齢に関係なく仲良く楽しく活動しています」と話します。

主な活動は、市の事業や市内に十一ある子育てサークルの催しに出向いての託児などの支援。時には子育ての相談を受けることもあり、小さな子どもを持つお母さんたちの子育てに、一役も二役も買っています。三浦ケサ子さん(75)は「松崎町」は「子どもたちと一緒に遊ぶことで、自分自身のリフレッシュにもなっています」と笑顔で話します。

会員を随時募集中。詳しくは遠野地域子育て支援センター「まなざし」(☎01187)まで。